

「統合失調症」という心の病氣をご存知ですか？

実は身近な病氣

「統合失調症」と言う難しい名前の心の病をご存知でしょうか。普通に生活していると、あまり聞きなれないかもしれません。しかしこの病氣、決して珍しいと言うわけでもないのです。その発生率はおよそ1%、つまり100人に1人がなると言われている病氣で、実はとても身近な心の病なのです。例えば1クラス33人、1学年3クラスずつの小学校があるとすれば、この小学校には統合失調症の患者さんが各学年に1人ずついる計算になります。

統合失調症の特徴

統合失調症の症状は大きく分けて、陽性症状と言われる症状と陰性症状と言われる症状から成り立ちます。陽性症状には聞こえるはずのない音や声が聞こえてくる「幻聴」、事実と異なることを事実だと信じ込んでしまう「妄想」、考えがまとまらず思考が混乱してしまい言っていることが意味をなさなくなる「思考障害」などが挙げられます。一方、陰性症状と言うのは、活気が

なくなり喜びや悲しみの表出がなくなる「感情の平板化」や「思考の貧困化」、やる気がなくなる「意欲の欠如」、さらにはその意欲が欠如した結果自分の部屋に引きこもり他人との交流をなくす「自閉」などが挙げられます。このような症状が特に10代や20代を中心とした比較的若い年齢層に現れやすいのが統合失調症の特徴です。

見間違われやすい症状

統合失調症は、このように若い人たちを中心として100人に1人の割合で見られる心の病ですが、時として他の病氣や状態と間違われることがあります。特に陰性症状をメインに症状が展開され、陽性症状が前面に出ない場合、「一見「うつ病」や「ただの引きこもり」と見分けがつかなくなりま

す。これも時々起こるくらいです。いざれにしても専門家による診察が大切です。「なんとなくいつもと違う」「元氣がなくて言っていることがおかしい」と感じる場合は、家族の方から積極的に精神科の受診を勧めてみましょう。早期発見・早期治療が鉄則です。

統合失調症チェックリスト

※5つ以上該当する方は要注意です。

- | | |
|---|--|
| 状態の変化
<input type="checkbox"/> イライラしやすくなった
<input type="checkbox"/> 落ち着きがなくなった
<input type="checkbox"/> 協調性がなくなった
<input type="checkbox"/> 表情がいつもと違う | 考えの変化
<input type="checkbox"/> ひがみっぽくなった
<input type="checkbox"/> 不安が強くなった
<input type="checkbox"/> 考えがまとまらなくなった
<input type="checkbox"/> ありえないことを考え始めた |
| 行動の変化
<input type="checkbox"/> 非現実的なことを言い始めた
<input type="checkbox"/> 独り言を言うようになった
<input type="checkbox"/> 昼夜が逆転し始めた | <input type="checkbox"/> 引きこもりがちになった
<input type="checkbox"/> 身だしなみを気にしなくなった |

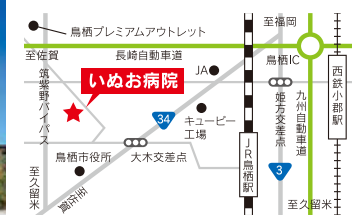


いぬお病院
犬尾明文先生

北里大学医学部卒業後、福岡大学病院精神科で研修。いくつかの民間病院における臨床経験を経て、平成28年いぬお病院院長に就任。

TEL.0942-82-7007
住/鳥栖市萱方町110 URL www.inuo.jp

正看護師、事務職(パート)を募集中です。



精神科・心療内科
いぬお病院
☎0942-82-7007

JR鳥栖駅から車で5分。
高速鳥栖インターからも5分とアクセス良好です。

佐賀県鳥栖市萱方町110
診察/9:00~12:00(受付11:45まで)
14:00~17:00(受付16:45まで)
休診/日・祝日 初診の方でも予約はいりません

